

京都市地区小学校教科書選定委員会 答申

「理科」について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。
- 3 児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。
- 4 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する活動が展開しやすいこと。
- 5 単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。
- 6 基本的人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道德教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 7 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい理科」

各学習の最後に基礎的・基本的な内容が箇条書きでまとめられている「まとめ」が設定され、単元末の「たしかめよう」には用語を書き込める欄が設けられている。また、観察・実験の内容に応じた記録の取り方やまとめ方の例が教科書の随所に示されるとともに、巻末に「ノートのかき方」として、実験記録の整理の仕方が問題解決の学習の流れに沿って示されているなど、基本的な技能の習得が図りやすい。

「問題をつかむ」、「調べる」、「まとめる」の3段階の問題解決的な学習の順序を明示するとともに、問題解決の過程で児童が働かせる見方・考え方を「理科のミカタ」として分かりやすく示すことにより、児童が見通しをもって問題解決的な学習に取り組むことができ、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。単元の導入では児童の問題発見に資する自然事象等の写真やイラストと共に既習事項が「学んだことを使おう」で示されていたり、単元末の「考えよう」では、既習内容を基に関連した事象について説明を促す設問が設定されていたりするなど言語活動が展開しやすい工夫がなされている。

「理科のひろば」には既習内容と実生活を繋げて考えるコラムや防災・安全、身近な自然や実生活などに関わる資料が掲載されている。また、社会の持続可能な発展に向けた取組や防災、減災について写真やイラストと共に取り上げ、自分自身の問題として考えられるよう工夫がなされており、既習事項を活用した発展的な学習に繋げやすい。

巻末には「算数科で学んだことを活用しよう」を掲載し、算数科で学んだことを理科でも生かせるようカリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。また、学習の系統性を重視し、単元の初めに「学んだことを使おう」として、関連する既習事項が掲載され、確認してから学習に取り組むことができるよう工夫されている。

■大日本図書「たのしい理科」

各学習の最後にその学習でおさえる基礎的・基本的な内容が端的な言葉でまとめられているとともに、単元末には「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」として、学習内容を振り返り、整理するための問いや定着した知識を身近な現象に適用させて説明する問題が充実しており、思考力の育成を図り、学んだことをさらに深める発展的な学習が展開しやすいよう、よく工夫されている。

また、観察・実験の内容に応じた記録の取り方やまとめ方の例が各学年の児童の成長段階を踏まえて分かりやすく随所に示されていたり、巻末には「理科のノートの書き方」として問題解決の流れに沿ったノートの記述例が示されていたりするなど、基本的な技能の習得に向け、よく工夫されている。

「見つけよう」、「調べよう」、「伝えよう」の色分けされた3段階の問題解決的な学習が提示されているとともに、問題解決の全過程においてキャラクターの吹き出しで、見方・考え方が示されており、見方・考え方を働かせながら、児童が見通しをもって問題解決的な学習に取り組みやすい。また、学習問題に対する自分の予想や考察を整理するポイントを児童同士の対話形式で示すなど話し合い活動が豊富に設定されているとともに、結果の整理・考察の場面でも各所に観察・実験のまとめや発表等の事例が豊富に示されているなど、言語活動が展開しやすい。

く優れている。

防災・自然保護・環境教育・歴史・科学技術などに関連した読み物が他社と比較して多く掲載されており、また、京都に関わる資料や自然環境の保全、防災・安全に関わる当事者意識を喚起する配慮がなされているなど、児童が学びの幅を広げて、意欲的に学習に取り組めるよう、工夫されており、優れている。

随所に他教科との関連が意識できる工夫がなされており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。また、単元の初めに「〇年で学んだこと」として、関連する既習事項が掲載されており、系統性、発展性を意識して学習を進めることができるよう工夫されている。

■学校図書「みんなと学ぶ 小学校理科」

各単元の導入ページにはキャラクターの言葉として、その単元で主に働かせる見方・考え方が示されているとともに、各学習末の「わかったこと」にはその学習でおさえるべき内容がまとめられており、知識の定着が図りやすく、単元末の「できるようになった」では、児童が学びを振り返り、自己の成長を感じることができるよう工夫されている。

観察・実験の内容に応じた記録の取り方やまとめ方の例が随所に示されるとともに巻末に「記録する」として、観察・実験記録の整理の仕方が問題解決の学習の流れに沿って示されている。また、観察をする際の写真の撮り方や図書館活用、グラフの書き方等例示が多様であり、基本的な技能の習得を図ることに優れている。

「見つけよう」、「調べよう」、「まとめよう」の3段階の問題解決的な学習が提示されているとともに、学習進度をチェックする欄が設けられていることで、児童が見通しをもって学習進度を確認しながら問題解決的な学習に取り組むことができる。問題発見の場面で児童の対話の一部が示されることにより、その内容を手がかりに、続きを考えながら友達と対話する活動や、結果の整理、考察の場面では観察・実験のまとめや発表等の豊富な事例と共に話し合い活動が提示されるなど言語活動が展開しやすい工夫がなされており、優れている。

防災や持続可能な社会に向けた取組や生物多様性・愛護の理解に繋がるコラム等が学習内容に関連付けて配置されており、生命尊重や環境保全の大切さに気付くよう配慮されている。関連資料が単元末の「わかったこと」の後に配置され、学習内容に関連した社会や生活、身の回りの自然事象への関心が深まるよう工夫されており、発展的な学習に繋げやすい。

他教科との関連や「くらしに生きる」「仕事に生きる」として、学習したことに関連した読み物教材が掲載されており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。また、「〇年生で学んだね」として、関連する既習事項が掲載されており、系統性、発展性を意識した学習が展開しやすい。

■教育出版「未来をひらく 小学理科」

単元構成が学習ごとの「結論」で基礎・基本の知識を確認し、単元末の「たしかめ」では学習内容を問題形式で振り返る構成であったり、観察カードの例や実験結果の記録ノートの例が問題解決の学習の流れに沿って示されたりしていることで、基本的な知識・技能の習得が図りやすい。

「問題を見つける」、「自分の考えをつくる」、「自分の考えを確かめる」、「わかったことを話す」といった4段階の問題解決的な学習の順序を明示するとともに、問題発見の場面で、教員

が児童に対し問いかけるイラストを示すことで児童の考えや児童同士の対話を促しており、また、単元内の適所に問題解決の学習の流れに沿った記録ノート例が示されるなど言語活動が展開しやすい工夫が見られる。

自然災害や環境保全、生命尊重に関するコラム等が学習内容に関連付けて配置されているとともに「チャレンジ」、「科学のまど」、「学びを広げよう」等、様々な資料が提示され、理科の学びが社会に役立っていることや先人の偉業等が紹介され、児童が自然事象や科学技術への興味・関心を高めながら、学びの幅を広げるなど発展的な学習に繋げる工夫がなされている。

「科学のまど」や「資料」など他教科や実生活との関連を説明する読み物資料が充実しており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。また、単元の初めに「学習のつながり」や「思い出そう」として他学年等の関連する単元名や既習事項が掲載され、系統性、発展性が意識されている。

■信州教育出版社「楽しい理科」

単元末の「まとめよう」では、イラストや表などを用いた学習内容のまとめ方が示されており、学習内容の習得が図られるよう工夫されている。また、観察・実験の手順、調査の手順や方法、的確な操作や測定のポイント等は、説明文・写真・絵・図等によって分かりやすく示され、技能の習得が図りやすい。一方、文中の観察カードの例や実験結果の記録ノートの中には、その内容が文章で細かく記述しているものがあり、児童の気付きや思いを広げにくい。

単元の導入では既習事項や生活経験を呼び起こす前文と写真やイラストが提示され、児童同士の対話を促すとともに、自分の予想や考察を整理し、友達と伝え合う活動では、教員と児童が対話する例が示されており、言語活動が展開しやすい工夫がなされている。

一方、学習展開のページでは結果を予想する場面や考察の場面が明確に設定されておらず、問題解決的な学習に取り組みづらい。また、単元での学習内容と自然事象等との関わりを理解し、さらに発展的に自ら学習を深められるよう配慮されているが、単元末で単元での学びを活用したり、発展させて考えたりする問題が設定されていない。

自然災害や環境保全、生命尊重に関するコラム等が学習内容に関連付けて配置されており、生命尊重や環境保全の大切さに気付くよう配慮されているとともに、「しりょう」として他教科や実生活との関連を盛り込んだ読み物資料が充実しており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。

■新興出版社啓林館「わくわく理科」

問題と対応する形で設定されている「まとめ」や単元末の「たしかめよう」の後に、「もう一度考えてみよう」と段階的に理解が深まる構成であり、学習内容の確実な定着を図る上で、よく工夫されている。巻末の「ノートのまとめ方」には実験記録の整理の仕方が問題解決の学習の流れに沿って示されており、基本的な技能の習得が図りやすく、また単元末の「ふり返ろう まとめノート」には学習内容をまとめたノートの例が示され、学んだ知識が整理できるなど、工夫されている。

「見つける」、「調べる」、「振り返る」といった3段階の問題解決的な学習の順序を明示することで、児童が見通しをもって問題解決的な学習に取り組みやすい。単元の導入では児童の既有的知識や体験を喚起する工夫と共に児童同士が理科の見方・考え方を働かせながら話し合っ

ている場面のイラストや教員の問いかけが示されており、また、結果の整理、考察の場面では、観察・実験のまとめノートが例示されているなど言語活動が展開しやすい工夫がなされている。

防災・減災、自然からの恵みを紹介する特設小単元を設定し、学習内容と関連付けながら自然とよりよく共存する方法が考えられるよう工夫されており、また単元末の「つなげよう」や随所に出てくる「理科の広場」では、学習内容に関連する身近な話題が数多く掲載されており、発展的な学習に繋げやすい。

巻末に「理科につながる算数のまど」を掲載し、算数科で学んだことを理科でも生かせるよう配慮されている。また、単元初めに「思い出してみよう」として、関連する既習事項が掲載され、系統的・発展的に学習できるよう配慮されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	信州教育	啓林館
1	基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。	1 重要事項の表記や構成の工夫(既習事項の確認や単元末のまとめなど)	○	○	○	○	○	◎
		2 観察・実験記録のとり方の例示や整理の仕方の工夫	○	◎	◎	○	△	○
		3 観察・実験器具の基本操作の習得を図る資料や安全への配慮に関する記述	○	○	○	○	○	○
2	習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。	1 予想や見通しをもつ場面での言語活動の重視	○	◎	○	○	○	○
		2 結果の整理から考察・結論へ至る展開場面での言語活動の重視	○	◎	◎	○	○	○
		3 問題解決の過程を重視した授業展開	○	○	○	○	△	○
3	児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。	1 主体的・対話的な学習に向けた工夫	○	○	○	○	○	○
		2 知識・技能等の活用を促す発展的な課題の提示	○	◎	○	○	△	○
		3 環境保全や防災・安全、身近な地域に関する内容の充実	○	◎	○	○	○	○
4	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する活動が展開しやすいこと。	1 理科の見方・考え方に関する記述	○	○	○	○	○	○
		2 問題解決の力や創造力を高めるためのものづくりの提示	◎	○	○	○	○	○
5	単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。	1 単元構成の系統性・発展性	○	○	○	○	△	○
		2 他教科や教育課題等との関連	○	○	○	○	○	○
		3 他校種との接続	○	○	○	○	○	○
		4 家庭・地域との連携	○	○	○	○	△	○
6	基本的な人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道德教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。	1 人権教育の推進	○	○	○	○	○	○
		2 道德教育の推進	○	○	○	○	○	○
7	表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1 文章や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさの工夫	○	○	○	○	○	○
		2 ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○	○	○
		3 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○	○	○
		4 用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○	○	○

【理科】観点別資料

【選定の観点１】

基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行社名					
2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	2 6 信教	6 1 啓林館
○各学習の最後に基礎的・基本的な内容が箇条書きでまとめられている「まとめ」が設定され、また、単元末の「たしかめよう」には用語を書き込める欄が設けられるなど、工夫がなされている。 ○観察・実験の内容に応じた記録の取り方やまとめ方の例が教科書の随所に示されるとともに、巻末に「ノートのかき方」として、実験記録の整理の仕方が問題解決の学習の流れに沿って示されており、基本的な技能の習得が図りやすい。 ○観察・実験に必要な基礎技能は、「理科の調べ方を身に付けよう」にまとめて示され、児童が必要に応じて確認できるよう工夫されている。また、適所に「使い方を理解しよう」「意味を理解しよう」が示されていることで、使い方や意味を理解してから観察・実験に取り組めるよう、配慮がなされている。	○各学習の最後にその学習でおさえる基礎的・基本的な内容が端的な言葉でまとめられているとともに、単元末には「たしかめよう」として、学習内容を振り返り、整理するための問いが設定されるなど工夫がなされている。 ○観察・実験の内容に応じた記録の取り方やまとめ方の例が各学年の児童の成長段階を踏まえて分かりやすく随所に示されている。また、巻末には「理科のノートの書き方」として問題解決の流れに沿ったノートの記述例が示されており、基本的な技能の習得に向け、よく工夫されている。 ○理科室のきまりごとや「使い方を覚えよう」として、観察・実験に必要な基礎技能がまとめて示されており、児童が必要に応じて確認しながら、観察・実験に取り組むことができる。また、器具の基本操作が写真や絵で分かりやすく説明されるとともに安全配慮事項が明示され、技能の習得が図りやすい。	○各学習末の「わかったこと」にはその学習でおさえるべき内容がまとめられており、知識の定着が図りやすい。また、単元末の「できるようにになった」では、児童が学びを振り返り、自己の成長を感じることができるよう工夫されている。 ○観察・実験の内容に応じた記録の取り方やまとめ方の例が随所に示されるとともに、巻末に「記録する」として、観察・実験記録の整理の仕方が問題解決の学習の流れに沿って示されている。また、観察をする際の写真の撮り方や図書館活用、グラフの書き方等の例示が多様であり、基本的な技能の習得を図る上で優れている。 ○観察・実験用具の使い方がイラストや写真と共に示されており、児童にとって理解が深まりやすい。また、観察・実験における注意事項は「注意」マークが付されており、安心・安全に学習が進められるよう配慮されている。	○学習ごとの「結論」で基礎・基本の知識を確認し、単元末の「たしかめ」では学習内容を問題形式で振り返る構成であり、知識の定着を図る工夫がなされている。 ○観察カードの例や実験結果の記録ノートの例が問題解決の学習の流れに沿って示されていることで、基本的な技能の習得が図りやすい。 ○理科器具の使い方が写真やイラストを用いて分かりやすく示され、基礎的・基本的な技能を児童が確実に習得できるよう工夫されている。また、実験中の「注意」・「危険」マークが多く、安全指導や危険防止を徹底し、安心・安全に学習が進められるよう配慮されている。	○単元末の「まとめよう」では、イラストや表などを用いた学習内容のまとめ方が示されており、学習内容の習得が図られるよう工夫されている。 ○文中の観察カードの例や実験結果の記録ノートの例の中には、その内容を文章で細かく記述しているものがあり、児童の気付きや思いを広げにくい。 ○観察・実験の手順、調査の手順や方法、的確な操作や測定のポイント等は、説明文・写真・絵・図等によって分かりやすく示され、技能の習得が図りやすい。また、安全確保のための注意マークと注意文を表記し、観察・実験上の危険防止が図られるように配慮されている。	○問題と対応する形で設定されている「まとめ」や単元末の「たしかめよう」の後に、「もう一度考えてみよう」と段階的に理解が深まる構成であり、学習内容の確実な定着を図る上で、よく工夫されている。 ○巻末の「ノートのまとめ方」には実験記録の整理の仕方が問題解決の学習の流れに沿って示されており、基本的な技能の習得が図りやすい。また、単元末の「ふり返ろう まとめノート」には学習内容をまとめたノートの例が示され、学んだ知識が整理できるなど、工夫されている。 ○観察・実験の手順や器具の使い方は図や写真、イラストを用いて丁寧に記述し、児童自ら観察・実験を行えるよう工夫されている。また、実験中の注意を促す、「注意」「けが」「やけど」マークが付され、安全指導や危険防止を徹底し、安心・安全に学習が進められるよう配慮されている。

【選定の観点2】

習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。

発行社名					
2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	2 6 信教	6 1 啓林館
○単元の導入では児童の問題発見に資する自然事象等の写真やイラストと共に既習事項が「学んだことを使おう」で示されており、それらを基にした言語活動が展開しやすい工夫がなされている。 ○自分で考察した後で友達との対話を通してさらに考えを深める単元構成となっており、また、単元末の「考えよう」では、既習内容を基に関連した事象について説明を促す設問があり、言語活動が展開しやすい工夫がなされている。 ○言語活動を適宜取り入れながら「問題をつかむ」「調べる」「まとめる」といった3段階の問題解決的な学習の順序を明示することで、児童が見通しをもって問題解決的な学習に取り組むことができ、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。	○学習問題に対する自分の予想や考察を整理するポイントを児童同士の対話形式で示すなど話し合い活動を行う場面が豊富に設定されており、優れている。 ○結果の整理、考察の場面では、各所に観察・実験のまとめや発表等の事例が豊富に示されているとともに、話し合い活動が提示されており、言語活動が展開しやすく優れている。 ○言語活動を適宜取り入れながら「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」の色分けされた3段階の問題解決的な学習が提示されており、児童が見通しをもって問題解決的な学習に取り組むことができ、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。	○問題発見の場面で児童の対話の一部が示されることにより、その内容を手がかりに、続きを考えながら友達と対話する等、言語活動が展開しやすい工夫がなされている。 ○結果の整理、考察の場面では、各所に観察・実験のまとめや発表等の事例が豊富に示されているとともに、話し合い活動が提示されており、言語活動が展開しやすい工夫がされており、優れている。 ○言語活動を適宜取り入れながら「見つけよう」「調べよう」「まとめよう」の3段階の問題解決的な学習が提示されているとともに、学習進度をチェックする欄が設けられていることで、児童が見通しをもって学習進度を確認しながら問題解決的な学習に取り組むことができ、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。	○問題発見の場面で、教員が児童に対し問いかけるイラストを示すことで児童の考えを引き出し、児童の対話を促す等、言語活動が展開しやすい工夫がなされている。 ○単元内に問題解決の学習の流れに沿った記録ノート例が適所に示されるとともに、児童同士の対話や教員から児童に問いかけるイラストが提示される等言語活動の展開に向けた工夫が見られる。 ○言語活動を適宜取り入れながら「問題を見つける」「自分の考えをつくる」「自分の考えを確かめる」「わかったことを話す」といった4段階の問題解決的な学習の順序を明示することで、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。	○単元の導入では既習事項を示したり、話し合い活動を提示したりすることで、児童の対話を促す等、言語活動が展開しやすい工夫がなされている。 ○自分の予想や考察を整理し友達と伝え合う活動には、教員と児童が対話する例が示されており、言語活動が展開しやすい工夫がなされている。 ○巻頭には問題解決的な学習が例示されているが、学習展開のページでは結果を予想する場面や考察の場面が明確に設定されておらず、問題解決的な学習に取り組みづらい。	○単元の導入では児童の既存の知識や体験を喚起する工夫がなされるとともに、児童同士が話し合っている場面のイラストや教員の問いかけが示されることにより、言語活動が展開しやすい工夫がなされている。 ○結果の整理、考察の場面では、児童同士の話し合い活動が提示されているとともに、観察・実験のまとめノートが例示されており、言語活動が展開しやすい工夫がなされている。 ○言語活動を適宜取り入れながら「見つける」「調べる」「振り返る」といった3段階の問題解決的な学習の順序を明示することで、児童が見通しをもって問題解決的な学習に取り組むことができ、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。

【選定の観点3】

児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。

発行社名					
2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	2 6 信教	6 1 啓林館
○単元の導入では、学習内容に関連する写真・資料や児童の思考に沿ったイラスト漫画が配置されていることで、児童が自身の経験や既習事項を振り返りながら、主体的・対話的な学習を進めやすい。 ○「理科のひろば」には既習内容と実生活を繋げて考えるコラムや防災・安全、身近な自然や実生活などに関わる資料が掲載され、自然災害を自分自身の問題として考えられるよう工夫がなされており、既習事項を活用した発展的な学習に繋げやすい。 ○社会の持続可能な発展に向けた取組や防災、減災について写真やイラストと共に取り上げられており、生命尊重や環境保全の大切さに気付くよう配慮されている。	○単元の導入では、既習事項や生活経験を呼び起こす写真やイラスト、児童同士が経験を基に話し合う様子が掲載され、児童自らが解決したい問題を見出し、解決するという主体的・対話的な学習を進めやすい。 ○単元末「学んだことを生かそう」では、定着した知識を身近な現象に適用させて説明する問題が充実しており、思考力の育成を図り、学んだことをさらに深める発展的な学習が展開しやすいよう、よく工夫されている。 ○防災・自然保護・環境教育・歴史・科学技術等に関連した読み物が他社と比較して多く掲載されており、また、京都に関わる資料や自然環境の保全、防災・安全に関わる当事者意識を喚起する配慮がなされているなど、児童が学びの幅を広げて、意欲的に学習に取り組めるよう、工夫されており、優れている。	○単元導入場面における学習内容に関わる写真や具体的な活動の様子、児童キャラクターの気付きや疑問が、児童自らが疑問をもち、主体的に問題解決に取り組む手立てとなっており、主体的・対話的な学習を進めやすい。 ○関連資料が単元末の「わかったこと」の後に配置され、学習内容に関連させながら社会や生活、身の回りの自然事象への関心が深まるよう工夫されており、発展的な学習に繋げやすい。 ○防災や持続可能な社会に向けた取組や生物多様性・愛護の理解に繋がるコラム等が学習内容に関連付けて配置されており、生命尊重や環境保全の大切さに気付くよう配慮されている。	○単元導入場面における、学習内容に関わる写真や具体的な活動の様子、児童キャラクターの気付きや疑問が掲載され、児童自らが疑問をもち、進んで主体的に問題解決しようとする態度を育成する学習や主体的・対話的な学習を進めやすい。 ○「チャレンジ」「科学のまど」「学びを広げよう」等、様々な資料が提示され、理科の学びが社会に役立っていることや先人の偉業等が紹介され、児童が自然事象や科学技術への興味・関心を高めたり、学びの幅を広げたりするなど、発展的な学習に繋げる工夫がされている。 ○自然災害や環境保全、生命尊重に関するコラム等が学習内容に関連付けて配置されており、生命尊重や環境保全の大切さに気付くよう配慮されている。	○単元導入場面では、既習事項や生活経験を呼び起こす前文と写真やイラストが提示され、児童同士の対話を促す工夫がなされており、主体的・対話的な学習を進めやすい。 ○単元での学習内容と自然事象等との関わりを理解し、さらに発展的に自ら学習を深めることを意図した配慮が見られるが、単元末で、単元での学びを活用したり、発展させて考えたりする問題が設定されていない。 ○自然災害や環境保全、生命尊重に関するコラム等が学習内容に関連付けて配置されており、生命尊重や環境保全の大切さに気付くよう配慮されている。	○単元導入場面では、見開きで学習内容に関連する写真を配置するとともに既習事項や経験を振り返る場面が設定されており、主体的・対話的な学習を進めやすい。 ○単元末の「つなげよう」や随所に出てくる「理科の広場」では、学習内容に関連する身近な話題が数多く掲載されており、発展的な学習に繋げやすい。 ○防災・減災、自然からの恵みを紹介する特設小単元を設定し、学習内容と関連付けながら自然とよりよく共存する方法を考え、生命尊重や環境保全の大切さに気付くよう配慮されている。

【選定の観点4】

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する活動が展開しやすいこと。

発行社名					
2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	61 啓林館
○問題解決の過程で働かせる見方・考え方を「理科のミカタ」として分かりやすく示すとともに、見方・考え方を働かせて学習を進める児童の姿が示されており、見方・考え方を働かせた学習が進めやすい。 ○ものづくりを問題解決的な学習の一環として位置付け、ものづくりの目的を明確にすることを促したり、お互いに作ったものを発表し合う場面を例示したりするなど、学習したことを生かしたものに計画的に取り組めるよう工夫されている。	○問題づくりや予想、考察など、問題解決の全過程においてキャラクターの吹き出しで見方・考え方が示されており、見方・考え方を働かせた学習が進めやすい。 ○単元の最後に「作ってみよう」として、ものづくりの作品例と作り方が示されており、学習したことを生かしたものに計画的に取り組めるよう工夫されている。	○各単元の導入ページにキャラクターの言葉として、その単元で主に働かせる見方・考え方が示されており、見方・考え方を働かせた学習が進めやすい。 ○「作ってみよう！」として、ものづくりの作品例が示されており、学習したことを生かしたものに計画的に取り組めるよう工夫されている。	○児童キャラクターの対話の中に、理科の見方・考え方を働かせている言葉が示されており、見方・考え方を働かせた学習が進めやすい。 ○ものづくりの作品例と計画書が示されるなど、学習したことを生かしたものに計画的に取り組めるよう工夫されている。	○児童キャラクターの対話や教師キャラクターの言葉の中に、理科の見方・考え方を働かせている言葉が示されており、見方・考え方を働かせた学習が進めやすい。 ○ものづくりの作品例と作り方が示されており、学習したことを生かしたものに計画的に取り組めるよう工夫されている。	○児童キャラクターの対話や博士キャラクターの言葉の中に、理科の見方・考え方を働かせている言葉が示されており、見方・考え方を働かせた学習が進めやすい。 ○巻末に「ものづくり広場」のページが設定され、数例の作品と作り方が示されており、学習したことを生かしたものに計画的に取り組めるよう工夫されている。

【選定の観点5】

単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

発行社名					
2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	61 啓林館
○学習の系統性を重視し、単元の初めに「学んだことを使おう」として、関連する既習事項が掲載され、確認してから学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○巻末に「算数科で学んだことを活用しよう」を掲載し、算数科で学んだことを理科でも生かせるようカリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。 ○発展的な内容を読み物資料で取り上げ、単元全体に配置することで中学校との接続に配慮している。 ○裏表紙に、「豊かな学びが未来を拓く」として保護者へのメッセージが掲載されている。	○単元の初めに「〇年で学んだこと」として、関連する既習事項が掲載されており、系統性・発展性を意識して学習を進めることができるよう工夫されている。 ○「〇〇科でまなぶこと」等、随所に他教科との関連が意識できる工夫がなされており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。 ○発展的な内容を読み物資料「サイエンスワールド」で取り上げ、単元全体に配置することで中学校との接続に配慮している。 ○裏表紙に、「先生・保護者の皆さまへ」として保護者へのメッセージが掲載されている。	○「〇年生で学んだね」として、関連する既習事項が掲載されており、系統性・発展性を意識した学習が展開しやすい。 ○他教科との関連や「くらしに生きる」「仕事に生きる」として、学習したことに関連した読み物教材が掲載されており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。 ○発展的な内容を読み物資料で取り上げ、単元全体に配置することで中学校との接続に配慮している。 ○巻頭に、「保護者の方へ」として保護者へのメッセージが掲載されている。	○単元の初めに「学習のつながり」や「思い出そう」として他学年等の関連する単元名や既習事項が掲載され、系統性・発展性が意識されている。 ○「科学のまど」や「資料」など他教科や実生活との関連を説明する読み物資料が充実している。 ○発展的な内容を読み物資料で取り上げ、単元全体に配置することで中学校との接続に配慮している。 ○裏表紙に、「先生・保護者の皆さまへ」として保護者へのメッセージが掲載されている。	○季節と生き物の観察や太陽と影等、自然に関わる単元の配列が京都市の実態とは異なるため、使いづらい。 ○「しりょう」として他教科や実生活との関連を盛り込んだ読み物資料が充実している。 ○発展的な内容を読み物資料で取り上げ、単元全体に配置することで中学校との接続に配慮している。 ○保護者へのメッセージは掲載されていない。	○単元初めに「思い出してみよう」として、関連する既習事項が掲載され、系統的・発展的に学習できるように配慮されている。 ○巻末に「理科につながる算数のまど」を掲載し、算数科で学んだことを理科でも生かせるよう配慮されている。 ○発展的な内容を読み物資料で取り上げ、単元全体に配置することで中学校との接続に配慮している。 ○裏表紙に、「先生・保護者の皆さまへ」として保護者へのメッセージが掲載されている。

【選定の観点6】

基本的人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道德教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行社名					
2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	2 6 信教	6 1 啓林館
○男女が協力して学習している様子や、車椅子の児童、外国人の児童が共に活動している場面が設定されているなど人権に配慮されている。 ○生命尊重・環境保全・生物愛護・伝統文化など、道德教育の視点を踏まえた様々な記述や写真を掲載している。	○男女が協力して学習している様子や、車椅子の児童、外国人の児童が共に活動している場面が設定されているなど人権に配慮されている。 ○生命尊重・環境保全・生物愛護・伝統文化など、道德教育の視点を踏まえた様々な記述や写真を掲載している。	○男女が協力して学習している場面が設定されているなど人権に配慮されている。 ○生命尊重・環境保全・生物愛護・伝統文化など、道德教育の視点を踏まえた様々な記述や写真を掲載している。	○男女が協力して学習している様子や、外国人の児童が共に活動している場面が設定され人権に配慮されている。 ○生命尊重・環境保全・生物愛護など、道德教育の視点を踏まえた様々な記述や写真を掲載している。	○男女が協力して学習している様子や、車椅子の児童、外国人の児童が共に活動している場面が設定されているなど人権に配慮されている。 ○生命尊重・環境保全・生物愛護など、道德教育の視点を踏まえた様々な記述や写真を掲載している。	○男女が協力して学習している様子や、車椅子の児童、外国人の児童が共に活動している場面が設定されているなど人権に配慮されている。 ○生命尊重・環境保全・生物愛護・伝統文化など、道德教育の視点を踏まえた様々な記述や写真を掲載している。

【選定の観点7】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行社名					
2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	2 6 信教	6 1 啓林館
○A4判で、サイズが大きい。字間や行間は読みやすく、豊富な図や写真は鮮明で、配色も配慮されている。 ○UDフォントが採用されており、また、色覚特性に対しても配慮されている。 ○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。	○幅の広いAB版で、鮮明で、配色も配慮された写真や図が大きく掲載され、字間や行間は読みやすく、レイアウトも工夫されている。 ○UDフォントが採用されており、CUDの専門家による監修もなされている。 ○造本は堅牢で、環境に配慮した紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。	○幅の広いAB版で、鮮明で、配色も配慮された写真や図が豊富に掲載され、字間や行間は読みやすく、レイアウトも工夫されている。 ○CUDの専門家による監修もなされている。 ○造本は堅牢で、環境に配慮した紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。	○A4変型判で、サイズが大きい。写真や図が豊富に掲載されており、字間や行間は読みやすく、レイアウトも工夫されている。 ○UDフォントやCUDが採用されている。 ○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用に加えて、印刷にはバイオマスで発電されたグリーン電力が使われているなど、環境にも配慮されている。	○幅の広いAB版で、写真や図が豊富に掲載されており、字間や行間は読みやすく、レイアウトも工夫されている。 ○CUDが採用されている。 ○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。	○幅の広いAB版で、鮮明で、配色も配慮された写真や図が豊富に掲載され、字間や行間は読みやすく、レイアウトも工夫されている。 ○UDフォントが採用されており、専門機関の認証も取得されている。 ○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。

※CUD：カラー・ユニバーサル・デザイン，UDフォント：ユニバーサル・デザインフォント